

带状疱疹ワクチン

带状疱疹は、水ぼうそう(水痘)と同じウイルスによって起きる皮膚の病気です。体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と多数の水ぶくれが帯状に生じます。通常、皮膚症状に先行して痛みがでることが多く、その後皮膚症状が現れるとピリピリと刺すような痛みとなり、夜も眠れないほど激しく痛む場合もあります。皮膚症状の消失後にも約20%の確率で痛みが残ると言われています。症状の多くは上半身に現れますが、臀部、顔面、目の周りに現れることもあり、現れる部位によって、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などの合併症を引き起こすこともあるので注意が必要です。

带状疱疹は、子供のときに感染した水ぼうそうのウイルスが原因で発症します。このウイルスは水ぼうそうが治った後も体内の神経節に長期間潜伏しています。加齢とともに水ぼうそうウイルスに対する免疫が低下して、潜んでいたウイルスの再活性化が起こり発症すると考えられています。

日本では現成人の90%以上が幼少期に水ぼうそうにかかっているため、ウイルスが再活性化し带状疱疹になる可能性が高く、80歳までにおよそ3人に1人が発症するとされています。特に加齢による免疫の低下にともない、50歳代から発症しやすくなります。

带状疱疹にはワクチンがあり、現在日本では50歳以上であれば任意(自費)で接種が可能です。2種類あります。

- 1) 水痘用のワクチン： 従来小児の水ぼうそう予防のために使用されていたもので、弱毒化されたウイルスが含まれる「生ワクチン」です。
- 2) 带状疱疹のワクチン： 带状疱疹を予防するために独自に開発されたワクチンで、「シングリックス®」 ウイルス表面タンパクの一部を抗原とした組換えタンパクワクチンです。米国ではシングリックスが推奨されており、当院ではシングリックスを用意しています。

2つのワクチンの効果の違いや費用については以下の表をご参照ください。

	水痘用ワクチン	带状疱疹ワクチン (シングリックス®)
ワクチンの種類	生ワクチン	サブユニットワクチン
接種回数	1回	2回 (2ヶ月後に2回目を接種)
予防効果	51.3%	97.2%
効果持続期間	約5年	9年以上
費用	-	22,000円(税込) x 2回
長所	接種が1回 費用が安い	予防効果が高く、持続期間が長い 免疫が低下している人も接種可能
短所	免疫が低下している人は接種不可 予防効果・持続期間が劣る	2回目接種が必要 費用が高い 痛みなどの副反応がやや強い